

九州北部大雨

看護師ら3人

AMDA派遣

九州北部の大雨を受け、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は29日、冠水被害が出ている佐賀市に職員ら3人を派遣した。相互扶助の連携協定を結ぶ同市内の病院を拠点に、情報収集などに当たる。

AMDA職員で看護師橋本千明さん（39）とAMDAに出向中の赤磐市職員山田章博さん（45）はJR岡山駅から新幹線で出発した。橋本さんは「昨年の西日本豪雨と似た状況になっていないのではないかと。ニーズの把握に努めたい」と言い、山田

さんは「行政経験を生かし、活動したい」と話した。

現地で女性看護師1人が合流し、3人は「さめじま病院」を軸に数日間活動する予定。避難所の開設状況や避難

者数を確認したり、医療支援の必要性を検討したりするという。

（伊丹友香）